

下関市立大学広報

オープンキャンパス臨時号



海峡の英知。未来へ。そして世界へ。

公立大学法人

下関市立大学

Shimonoseki City University

2010年9月1日

オープンキャンパス臨時号

発行：下関市立大学広報委員会

〒751-8510 下関市大学町 2-1-1

TEL. 083-252-0288

FAX. 083-252-8099

<http://www.shimonoseki-cu.ac.jp>



7月11日(日)、7月24日(土)の両日、午前10時から午後3時まで、本学においてオープンキャンパスを開催し、高校生や留学生、そして保護者など、合わせて514名の方々に参加していただきました。

まず、「全体説明」を行い、本学の特徴や入試、就職などについて説明しました。そして、大学での授業の雰囲気を味わえる、各学科の「模擬講義」、「大学語学入門」をそれぞれ教室で行い、「図書館ツアー」や「学食体験」は、各施設で自由に体験できるようにしました。詳細な情報を知りたい方には、入試や就職、留学、地域共創などの「個別相談」ブースを設けました。

また、学生主催の企画も「市大生と語ろう」、「学内施設ツアー」、「保護者説明会」など、多くの方の参加があり、どれも好評でした。

広報委員会委員長
教授 木村 健二

模擬講義ダイジェスト

オープンキャンパスでは、大学の紹介や個別相談などが行われますが、大学の授業を模擬体験することもできます。今年も、既存の経済学科、国際商学科、語学に加え、来年度新設される新学科、公共マネジメント学科の模擬講義が行われました。

経済学科

11日「砂糖と紅茶の世界史」高田 実 教授



食糧自給率が40%の日本では、大半の食材を海外から輸入しています。しかし、こうした食料の海外依存は今に始まったことではありません。近代のヨーロッパでも、大航海時代以降、大量の新しい食材が南北アメリカ、アフリカ、アジアからもたらされました。黒人奴隷によって生産されたトマト、ジャガイモ、トウモロコシ、茶、それにコーヒーや砂糖などが大量に輸入され、ヨーロッパの人々の生活を豊かにしていったのです。この講義では、こうした近代世界システムと「世界商品」の関係を、茶と砂糖を例にして説明しました。

国際商学科

11日「中国の経済発展と日本」飯塚 靖 教授



本講義では、中国の目覚ましい経済発展状況を、GDP（国内総生産）や貿易額などで確認し、その発展を日本経済活性化にどのように生かすべきかを観光産業を事例として考えました。経済的に豊かになった中国人の人々は、海外旅行を楽しむようになりました。日本にもたくさんの中国人観光客が来るようになり、その旺盛な消費意欲が話題となっています。観光立国を目指す日本にとって、中国人観光客をいかに増やすかが重要な課題となっているのです。

24日「マクロ経済学の誕生」素川 博司 准教授



マクロ経済学はGDPを学ぶことからスタートします。経済をマクロ的に見る視点が、どのような時代背景で生まれ、その後の経済にどのような影響を及ぼすようになったか、お話ししました。最近の世界同時不況と、その対応策にどのようなものがあるかについても触れました。また、社会保障・財政赤字解消・雇用創出が問題となっている今日、マクロの守備範囲でどのような議論ができるか、GDPの今日的意義を、本学会場にいられたみなさんにお話ししました。

24日「国際経済と国際金融の現状」西戸 隆義 准教授



この模擬講義では、国際的な貿易と資金移動の動向を端的に表す国際収支表の見方を説明し、その上で、東西冷戦が終結した1990年以降、世界的な規制緩和・撤廃が進むグローバル化のなかで、日本、アメリカそして新興国とりわけ中国が、世界経済と国際金融の分野でどのような役割を担ってきたのかを、国際収支表も用いて分かりやすく解説しました。最後に、国際経済と国際金融の現状の問題を指摘し、その解決に向けた方策を説明しました。

公共マネジメント学科

11日、24日「公共マネジメント入門」川野 祐二 准教授



「公共」とは、みんなが集まる場所のことです。「みんな」といっても、顔見知りだけではありません。公共の場には、見ず知らずの人たちが、次々にやってきます。「みんなのもの」である公共は、「誰か個人のものではない」ということになります。すると、「自分のものではないのだから、大切にしないで構わない」「みんなのものなんだから、自分がしなくて、誰かがやってくれるだろう」と考える人が出てきます。自分だけがズルをすれば、得をしますが、みんなが同時にズルをすると、みんなそろって損をしてしまう。こうして公共の場は乱れ、公共の利益は損なわれます。このようなときこそ、マネジメント（経営＝効果的に目的を達成する方法）の出番です。

大学語学入門

大学英語入門 ポール コレット 特任教員



まずは、参加された高校生に本学で勉強していただける授業、英語圏留学などについて説明しました。その後、模擬授業を行いました。授業内容は1年生が対象の英語実習aに基づいたもので、リーディングとスピーキングを通して、芸術作品を描写したり批評したりすることを練習しました。

中国語入門(11日) 武井 満幹 講師



「市大の中国語」と「ちょっとだけ中国語」の二部構成。「市大の中国語」では開講科目を年次ごとに紹介しました。「ちょっとだけ中国語」では中国で使われている漢字や外来語の表記の仕方を説明し、中国の文字当てのなぞなども解きました。（「半分は昼、半分は夜」ってなあに？）

韓国語入門 李 亮 特任教員



まず、韓国の現状（人口及び面積）について説明をし、下関市立大学における韓国語教育の現状（下関市立大学が日本全国の大学においても外国語大学を除いては韓国語を学習するのに最も適合していること。）を説明しました。また、韓国語の研修や韓国語を第一外国語として選択した卒業生の現状について説明し、経済学を専攻して韓国語を第一外国語として選択した場合の展望について説明しました。

中国語入門(24日) 浅野 雅樹 講師



中国語は日本語と同じで漢字が使用されます。ただ両言語は実のところ全く異なると言えます。発音、語彙、文法の面における中国語の特徴を日本語と対照することにより、わかりやすく解説しました。また写真などを使い、中国とはどのようなところなのか、ということも紹介しました。

学生企画

本学のオープンキャンパスには、生協学生委員会がスタッフとして参加し、企画も主催しています。「保護者説明会」は、自宅生と下宿生がそれぞれの生活状況を説明し、その後は各テーブルで質問を受け付けました。「市大生と語ろう」は、推薦入試や一般入試、生活や留学についての説明と、テーブルでのフリートーク。「学内施設ツアー」は、図書館や体育館、研究室などを回りながら、途中、大学生活のビデオを見たり、クイズによるスタンプラリーを実施したりと盛りだくさんの内容です。



保護者説明会 学生のナマの意見が聞けます



市大生と語ろう① 大勢の前での発表



市大生と語ろう② フリートーク



学内施設ツアー① 学内を散策



学内施設ツアー② 学生生活のビデオ



学内施設ツアー③ 教員の研究室にも

私たちと一緒に「一日市大生体験」を!

生協学生委員会委員長 安村佳与(経済学科2年)

私たち生協学生委員会は、これから大学生になる高校生やその保護者の方の不安や、悩み、質問など大学のパンフレットではわからないさまざまなことに、「大学生の生の声で応えてあげたい!!!」、そして、「少しでも悩みや不安を解消して、大学生活への期待を膨らませてもらいたい!!!」、という思いから、毎年、オープンキャンパスでの企画を開催しております。

ここで、今年プログラムを紹介します。①保護者説明会、②市大生と語ろう、③学内ツアーです。①保護者説明会は、これから大学生になられるお子さんをお持ちの保護者の方に学生委員の実体験をもとに、一人暮らし・自宅生の一ヶ月の収支や入試時の悩みなどについて、学生の声で応えます。②市大生と語ろうは、市大のオープンキャンパスの売りです!!! オープンキャンパスに来てくれた高校生の悩みや大学生活への不安、例えば「大学の授業ってどんな感じなんですか?」、「サークルって週に何回くらい活動するんですか?」など、パンフレットを見てもわからないけど知りたいことに、私たち学生委員が学生の生の声でしっかり応えます!!! ③学内ツアーは、今年はクイズラリー形式にして各ポイントで市大クイズに答え、スタンプを集めながら学生委員と学内を回りました。景品もあってとっても楽しいですよ。

高校生のみなさん! ぜひ、市大のオープンキャンパスに来て大学への不安や悩みを解消しませんか? 市大はとってもアットホームな雰囲気の大学です。私たち学生委員と「一日市大生体験」しませんか?

参加者の声

全体(アンケートより)

- ・個別相談でとても親切に話を聞いてくれたので嬉しかったです。
- ・市大にすぐ行きたくなった。
- ・学内ツアーに行ってみたかったが、講義と重なり行けなかった。
- ・企画が少ないと思う。

市大生と語ろう

- ・学科の詳しい情報が聞けてよかったです。
- ・一人暮らしの失敗談が面白かった。
- ・悩みを聞いてくださって本当にありがとうございました。入試に向けて頑張ります。



保護者説明会

- ・入試、学生生活、アルバイト等、多くのことが参考になりました。学生さんから積極的に話をしてくれて、気楽に質問ができました。
- ・学生さんの生の声が聞けて大変良かった。
- ・一人暮らしの説明がとても参考になりました。

学内施設ツアー

- ・自然が豊かで過ごしやすそう。
- ・先輩達が優しく、ビデオで観たサークルが楽しそうだった。

入試情報

		募集人員			試験会場	試験日	出願期間		合格発表
		経済学科	国際商学科	公共マネジメント学科					
推薦入学	全国推薦	27名	27名	7名	下関	2010年 11月20日(土)	11月4日(木)～ 11月11日(木)	17時 必着	2010年 11月29日(月) 10時
	地域推薦 A推薦 B推薦	29名	29名	8名	下関	2010年 11月20日(土)	11月4日(木)～ 11月11日(木)	17時 必着	2010年 11月29日(月) 10時
特別選抜	帰国子女	2名	2名	1名	下関	2010年 11月20日(土)	11月4日(木)～ 11月11日(木)	17時 必着	2010年 11月29日(月) 10時
	社会人	2名	2名	1名					
	中国引揚等子女	若干名	若干名	若干名	下関	2011年 1月22日(土)	11月24日(水)～ 12月3日(金)	17時 必着	2011年 1月28日(金) 10時
外国人留学生選抜		若干名	若干名	若干名	下関	2011年 1月22日(土)	11月24日(水)～ 12月3日(金)	17時 必着	2011年 1月28日(金) 10時
一般選抜	前期日程	52名	52名	16名	下関・大阪・広島	2011年 2月25日(金)	1月24日(月)～ 2月2日(水)	消印 有効	2011年 3月4日(金) 10時
	公立大学中期日程	83名	83名	27名	下関・大阪・広島・ 高松・福岡・鹿児島	2011年 3月8日(火)	1月24日(月)～ 2月2日(水)	消印 有効	2011年 3月21日(月) 10時
第3年次編入学		10名	10名	—	下関	2010年 11月20日(土)	10月21日(木)～ 10月28日(木)	17時 必着	2010年 11月29日(月) 10時

アドミッションポリシー

1. 教育理念・目標

下関市立大学は、学生の「学ぶ力」を高めつつ、地域に根ざし、東アジアを中心に広く世界に目を向けた教育を実践することによって、現代社会に適応しうる創造的で教養豊かな高度職業人の育成を目標としています。

2. 求める学生像

- (1) 下関市立大学の教育理念と目標を十分に理解している
- (2) 社会の多様な問題に関心をもっている
- (3) 主体的に学ぼうとする意欲をもっている
- (4) 個性的でチャレンジ精神に富んでいる

3 各学科のアドミッションポリシー

経済学科は、現代の経済社会への理解を深め、国内外の、さらには国内の地域・地方が抱えるさまざまな問題に的確に対応しうる創造的な経済人の育成を目指しています。今日、われわれを取り巻く国内外の環境は大きく変貌しつつあり、さまざまな問題が生じています。本学科は、現代社会が直面する社会的、経済的諸問題を学問的に学ぶための基礎学力を備え、さらにそれらの問題の解決に向けて積極的に関与していこうとする意欲を持った学生を求めています。

国際商学科は、商学、経営学、会計学に関する専門知識ばかりか、東アジアを中心とする国際交流に適応しうる豊かな国際感覚や、企業等の経営や社会生活の上で不可欠な情報処理能力を身につけた職業人の育成を目指しています。本学科は、そのような人材の育成のために、現代におけるビジネスの世界に興味を持ち、語学能力や数的処理能力などに関する基礎学力を備えた学生を求めています。

公共マネジメント学科では、経済学、経営学を中心とした社会科学の知識を基盤にしなが、企業、行政、非営利組織における公共性と関係性の構築という課題に迫り、社会の様々なポジションにおいて、地域活性化等の公共的な課題に取り組むことができる人材、すなわちマネジメント能力を身につけた行政人、公共感覚を持った企業人、戦略思考の非営利組織人、調整能力をもったコーディネーター等を送り出すことを目指します。

社会が抱える課題に広く関心を持ち、既成概念にとらわれない柔軟な思考と分け隔てなく様々な人とコミュニケーションしようとする、公共性を意識した学生を求めます。

■その他最新情報は、ホームページをご覧ください。



◆ 学生募集要項の請求方法

- 来学する場合：入試班（5 番窓口）で配付
請求及び問い合わせ：入試班（083）252-0289
E-mail:nyugaku@shimonoseki-cu.ac.jp
- 大学ホームページから請求する場合
テレメールを利用して資料請求ができます。
詳しくは本学のホームページ（http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/）をご覧ください。

●新校舎建設に向け、工事が始まりました



平成 23 年度に完成する新校舎の建設に向けて、7 月より工事が始まりました。

5 階建ての新校舎は、1 階がキャリアセンターやオープンカウンターの事務室、2 階は国際交流センター、地域共創センターなどの交流ゾーン、3 階からは研究室などになります。

秋のミニオープンキャンパス開催 10月3日(日) 13:00～15:30